



藤岡 緑 議員



10月以降の申込状況に合わせて課題克服を…

## 幼児教育・保育無償化に伴う課題は

**問** 10月から始まる幼児教育・保育無償化に伴う実務に向け、待機児童や保育士不足の問題など予想される課題について、町の考えを問う。

案し、円滑に事業が実施できるように準備を進めている。

- ◎無償化に伴う課題は
- ①保育ニーズの更なる高まり
- ②保育士確保の深刻化
- ③それによる待機児童が発生する恐れ

こうした事態にどう対応するのか……

★現状では、無償化に伴う影響がどのようになるかわからない。

10月以降の状況を把握

したうえで具体的対策を検討したい。

### 再質問

**問** 制度に対し地域の実情とかけ離れていて子どもの年齢や利用する施設によっては無償化の恩恵を受けられない家庭も少なくないという問題もある。

そのため自治体によっては、独自財源で何らかの経済的支援を

**答** 実施するところもあるが、松前町は。今のところそのような考えはない。

### 意見

課題の対応は、現状把握してからとのことだが、今現在抱えている問題も多い中、十分対応できるのが不安が残る。

できることから迅速に対応してほしい。

## 選挙公報と投票率低下傾向に対策を

**問** 初めて実施した選挙公報新聞折り込みの効果の検証と、行う度に低下傾向にある投票率に対して町としての方策は。

政見・公約の伝達を行い投票率の向上につなげるためのものだ。

昨年9月に県内の町では初めて選挙公報に関する条例を制定し、今回の町議選で初めて発行した。

配布方法は、町内全域に迅速かつ経済的に配布

できるのは、新聞折り込みしかない。選挙期間が5日間しかない中、選挙公報の原稿が確定するのは、告示日の17時で印刷に3日必要だ。納品は選挙日の前々日となり、その後折込作業があつて配布は、選挙期日の前日となる。これより早い配

布は難しい。

★投票率向上にむけて、広報紙やホームページの常時啓発、町内の高校へ選挙に関する出前講座をするなど取り組んでいる。

### 提言

- ・結果に繋がる方策を
- ・事後アンケートの実施（若い世代向け）
- ・高齢者向け選挙支援

**答** 大川選挙管理委員会書記長  
選挙公報は、投票の判断材料の提供や候補者の